

四日市版コミュニティスクール報告書（令和4年度総括）

四日市市立下野小学校

校長 小林 美和

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- (1) 学校づくりビジョンや学校評価、子どもたちの様子等に関して協議し、「地域とともにある学校」の推進を図ります。
- (2) 子どもたちの将来に生きる力を育むために、学習支援や体験学習、地域学習、読書活動、クラブ活動において、地域の教育力を活用し、「開かれた学校」の推進を図ります。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について(1) 教育活動の実践事例

地域や保護者の皆様から様々なご支援やご協力をいただき、下野地区の自然や文化、歴史、産業などを通してたくさんのお話を学ぶことができました。地域に出かけて学ぶ学習、地域の方を学校へお招きして体験する学習など、すべての学年が一年を通して取り組み、学習の充実を図ることができました。本年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のために活動規模を縮小することはありましたが、内容を工夫することで、子どもたちはどの活動にも真剣な姿で取り組むことができました。

① 地域連携授業の取組

10月21日（金）【1年生は10月3日（月）】に地域連携授業をおこないました。

1年生は、下野地区のスポーツ推進委員さんらにご来校いただき、生涯スポーツである「ボッチャ」を体験しました。ボッチャのルールなどを教えていただき、試合も体験し、競技に親みしました。

2年生は、図書支援員さんと図書館司書さんにお世話になり、「しおりづくり」をしました。子どもたちは、どの子もオリジナルのしおりづくりに熱心に取り組みました。よ

り本に親しむ気持ちをもつことができました。

3年生は、運営協議会委員長さんらを講師としてお招きし、全員が石臼で大豆を挽き、「きな粉づくり」を体験しました。残念ながら下野郷土資料館の見学はできませんでした。

4年生は、下野生き域ネットの皆様にご来校いただき、下野地区で作られている竹炭の作り方や効能について教えていただきました。そして「竹炭アート」に取り組みました。子どもたちは思い思いの作品に仕上げることができました。



5年生は、地域の方に来ていただき、「わら細工づくり」に挑戦しました。わらを木づちでたたいて柔らかくしたり、ねじりながら編んでなったりしました。

6年生は、地域にある老人介護福祉施設の職員さんにお越しいただき、介護の仕事や施設についてお話しいただきました。利用者の方のことを考えた丁寧な関わり方や介護の仕事に対する思いなどを教えていただきました。



② 地域理解を推進する取組



5年生は、運動場の南側の田んぼをお借りして、地域の農家の方やJAの職員さんとともに「セコイア米づくり」をしました。4月19日（火）には「種まき」、22日（金）には「田植え」、9月6日（火）には「稲刈り」を体験させていただきました。

6年生は、学校園で地場産業である「下野の梨づくり」の取組を始めています。梨農家の方に栽培の歴史や魅力、栽培方法等について教えていただきました。子どもたちの将来に生きるキャリア教育にもつながりました。



③ クラブ活動支援の取組

英語クラブと卓球クラブでは、地域の方々にご支援いただき、楽しく活動をしています。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

- ① コミュニティスクール（運営協議会）と地域が共催し、様々な活動が実現できました。子どもたちが郷土や下野地区に親しみや誇りを持ち、下野地区の人や自然、文化、産業などを見つめ直し、地域の方々とともに考えるよい機会となりました。
- ② 運営協議会の委員の皆様には、教育活動の様々な取組や日頃の授業、子どもたちの様子を参観していただき、学校の状況を具体的に知っていただくことができました。子どもたちが落ち着いて授業に参加している姿から、子どもたちの成長の様子を評価していただきました。

3 今後に向けて

本年度も地域や保護者の皆様のご支援やご協力をいただき、地域や保護者の皆様とのふれあいや交流を通して、子どもたちは思考力や表現力、コミュニケーション力等を高めることができました。

今後も、地域の特色や教育力を可能な限り活用し、地域と学校が連携・協働した地域社会全体での教育の実現をめざしていきたいと考えています。そして、下野地区の活性化と、下野地区を深く愛する子どもたちの育成をめざし、取組を推進していきたいと思います。